

SOLIDWORKS解析実践セミナー

～流体解析編～

～ここが知りたかった 設計者が解析をするための肝～

- 主催： アルゴジャパン・イーエス株式会社
アルゴジャパン株式会社
- 協賛： ソリッドワークス・ジャパン株式会社

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日ごろより格別のご高配をいただき誠にありがとうございます。

このたび、アルゴジャパン株式会社、アルゴジャパン・イーエス株式会社は、
「**SOLIDWORKS解析実践セミナー～流体解析編～**」を開催いたします。

SOLIDWORKS ファミリーの中で、Flow Simulationがカバーする数値流体解析 (CFD) は、製造業が直面するさまざまな問題の解決の糸口となりうる物理現象の可視化を手軽に行えます。無論、実際の物理現象を完全に再現することはできませんが、設計者が頭の中を整理して、よりよい設計を進めてゆくための大きな力になることは間違いありません。

今回、弊社のユーザー様としてSOLIDWORKS Flow Simulationを長年業務で使用してこられた、GAC株式会社の南山雄一氏に、設計者が解析を使うことの意義を熱く語っていただくとともに、すぐに役に立つ実践的なハンズオン講習を行っていただきます。

ここまで熱い、有意義な講習を無料で実施できるのは、アルゴジャパンだけです。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時/会場

長野県：松本会場：2014年6月12日(木) アルゴジャパンセミナールーム

(地図：<http://goo.gl/BTaf3H>)

新潟県：燕三条会場：2014年6月13日(金) 県央メッセピア 3F中会議室

10:00 開始 ～ 16:30 終了 (受付9:45)

プログラム

			プログラム
1	10:00～10:05	ご挨拶	アルゴジャパン・イーエス株式会社 技術・マーケティング統括リーダー 進士晃三
2	10:05～11:00	講演	講師：GAC株式会社 事業推進本部 技術支援室 課長 南山雄一様
3	11:00～12:00	ハンズオン1	
4	12:00～13:00	昼食休憩	
5	13:00～16:15	ハンズオン2	講師：GAC株式会社 事業推進本部 技術支援室 課長 南山雄一様 操作サポート：AJESエンジニア
6	～16:30	質疑応答	

- 参加費は無料です。 ～ご参加のお申込みは、下記メールアドレスへ～
ご希望の**セミナー日時/会場**と**御社名**及び**参加者名** (全員) をご連絡ください。
折り返し、参加申込受付のご連絡を差し上げます。
- 申込メールアドレス：eigyou@algojapan.co.jp TEL(0263)34-0985 受付：薩美

ハンズオンセミナーアジェンダ

1stHalf 設計CAEを考える事は、自社における設計力の本質を考えることに繋がる

1. 静かなる変化、劇的な変化グローバル化は起こるべくして起こった
～製造業の置かれている現状を考える～
2. 「ガラパゴス化」は「イノベーションを起こさない」ということではない
～チャレンジする所に競争優位が存在する～
3. 設計者は付加価値を生み出すことが大切
 - 3-1.イノベーションは何時でも何処でも誰でも起こしている ～2つのイノベーション～
 - 3-2.価値判断するのは誰 ～方法論の前に“顧客のため”に真摯に仕事を～
 - 3-3.設計って仕事は本来楽しいもの ～つまらないモノにしているのは誰?～
4. 設計とCAEが繋がる意味
 - 4-1.設計という仕事が生み出すもの
～見えないから強みになる事がある。見えるから分かること、繋がることがある～
 - 4-2.最初から「ドラえもん」はいない ～数値解析には限界がある～
 - 4-3.設計成果に集中するべき ～設計CAEの使命～
(アルゴジャパン(株)からのシミュレーション製品紹介あり)
 - 4-4.経験を補い、モチベーションを育てたい
5. 人間の半分は“矛盾”でできている

2ndHalf 技術者としてFlow Simulationを自分自身の武器にしていこう ～ハンズオン～

1. CAEの基礎概念 ～メッシュ切ってと釣り合いを解くというシンプルな概念～
2. 流体力学のイロハの「イ」
～熱伝導と熱伝達、乱流と相流、自然対流と強制対流現象～
3. Flow Simulationの基本操作
 - 3-1.外部流れと内部流れ
 - 3-2.外部流れ演習 ～翼形状周りの流れ解析演習～
Tips : 計算領域をどのように考えたら良いのか
 - 3-3.内部流れ演習 ～管路の流れ解析演習 圧力損失を可視化する～
Tips : 流体解析は、初期条件が大事
Tips : ゴールを設定することは設計目的を明確にすること
4. 成果を出してこそ設計した意味がある
 - 4-1.実践課題にチャレンジ!
～解析結果をどのように見て、次のアクションを取るかで真価が問われる～
 - 4-2.設計レビューの時間 ～設計情報を伝え終わるまでが設計という仕事～
5. 忘却の彼方に ～クロージングメッセージ～